MARUISHI

25kg

制酸剤

炭酸水素ナトリウム「ニッコー」

Sodium Bicarbonate「NIKKO」

日本薬局方
炭酸水素ナトリウム

2015年5月改訂(第3版)	
日本標準商品分類番号	872344
承認番号	16000AMZ01926
薬価収載	1985年7月
販売開始	1997年5月
再評価結果	1980年3月

貯　　法：室温保存
使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)

●禁忌(次の患者には投与しないこと)
ナトリウム摂取の制限を必要とする患者(高ナトリウム血症、浮腫、妊娠高血圧症候群等)[ナトリウムの貯留増加により、症状が悪化するおそれがある。]

●組成・性状

1.組成
本品1g中　日局炭酸水素ナトリウム1g　含有。

2.性状
白色の結晶性の粉末で、においはなく、特異な塩味がある。
水にやや溶けやすく、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。
湿った空気中で徐々に分解する。

発売元
㊣ 丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

製造販売元
日興製薬株式会社
岐阜県羽島市江吉良町1593

●効能・効果

(経　口)
下記疾患における制酸作用と症状の改善
胃・十二指腸潰瘍、胃炎(急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む)、上部消化管機能異常(神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む)
アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛風発作の予防
(含嗽・吸入)
上気道炎の補助療法(粘液溶解)

●用法・用量

炭酸水素ナトリウムとして、通常、成人1日3～5gを数回に分割経口投与する。
含嗽、吸入には1回量1～2%液100mLを1日数回用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

●使用上の注意

1.慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
(1)重篤な消化管潰瘍のある患者[胃酸の二次的分泌(リバウンド現象)により症状が悪化するおそれがある。]
(2)腎障害のある患者[ナトリウムの貯留により症状が悪化するおそれがある。]
(3)心機能障害のある患者[ナトリウムの貯留により症状が悪化するおそれがある。]
(4)肺機能障害のある患者[症状が悪化するおそれがある。]
(5)低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者[症状が悪化するおそれがある。]

2.相互作用
(1)併用禁忌(併用しないこと)

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
マンデル酸ヘキサミン(ウロナミン腸溶錠)	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり抗菌作用を発現するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。

(2)併用注意(併用に注意すること)
本剤は制酸作用等を有しているので、他の薬剤の吸収・排泄にも影響を与えることがある。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
大量の牛乳、カルシウム製剤	milk-alkali syndrome(高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等)があらわれるおそれがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。	機序：代謝性アルカローシスが持続することにより、尿細管でのカルシウム再吸収が増加する。 危険因子：高カルシウム血症、代謝性アルカローシス、腎機能障害のある患者

3.副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
代謝異常注)	アルカローシス、ナトリウム蓄積による浮腫等
消化器	胃部膨満、胃酸の二次的分泌(リバウンド現象)

注)観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量又は休薬等の適切な処置を行うこと。

4.高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

製造番号

使用期限

紙箱

〈調剤包装単位用コード〉
(01)04987211236946

〈販売包装単位用コード〉
(01)14987211136946

MARUISHI

25kg

制酸剤

炭酸水素ナトリウム「ニッコー」

Sodium Bicarbonate「NIKKO」

日本薬局方
炭酸水素ナトリウム

*2012年11月改訂(第2版)	
日本標準商品分類番号	872344
承認番号	16000AMZ01926
薬価収載	1985年7月
販売開始	1997年5月
再評価結果	1980年3月

貯　　法：室温保存
使用期限：3年(表示の使用期限を参照すること。)

＊ **●禁忌(次の患者には投与しないこと)**
ナトリウム摂取の制限を必要とする患者(高ナトリウム血症、浮腫、妊娠高血圧症候群等)[ナトリウムの貯留増加により、症状が悪化するおそれがある。]

●組成・性状

1.組成
本品1g中　日局炭酸水素ナトリウム1g　含有。

2.性状
白色の結晶性の粉末で、においはなく、特異な塩味がある。
水にやや溶けやすく、エタノール(95)又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。
湿った空気中で徐々に分解する。

発売元
丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2

製造販売元
日興製薬株式会社
岐阜県羽島市江吉良町1593

●効能・効果
(経　口)
下記疾患における制酸作用と症状の改善
胃・十二指腸潰瘍、胃炎(急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む)、上部消化管機能異常(神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む)
アシドーシスの改善、尿酸排泄の促進と痛風発作の予防
(含嗽・吸入)
上気道炎の補助療法(粘液溶解)

●用法・用量
通常、成人1日3～5gを数回に分割経口投与する。
含嗽、吸入には1回量1～2%液100mLを1日数回用いる。
なお、年齢、症状により適宜増減する。

●使用上の注意

1.慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)
(1)重篤な消化管潰瘍のある患者[胃酸の二次的分泌(リバウンド現象)により症状が悪化するおそれがある。]
(2)腎障害のある患者[ナトリウムの貯留により症状が悪化するおそれがある。]
(3)心機能障害のある患者[ナトリウムの貯留により症状が悪化するおそれがある。]
(4)肺機能障害のある患者[症状が悪化するおそれがある。]
(5)低クロル性アルカローシス等の電解質失調の患者[症状が悪化するおそれがある。]

2.相互作用
(1)**併用禁忌(併用しないこと)**

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
マンデル酸ヘキサミン(ウロナミン腸溶錠)	本剤はヘキサミンの効果を減弱させることがある。	ヘキサミンは酸性尿中でホルムアルデヒドとなり抗菌作用を発現するが、本剤は尿のpHを上昇させヘキサミンの効果を減弱させる。

(2)**併用注意(併用に注意すること)**
本剤は制酸作用等を有しているので、他の薬剤の吸収・排泄にも影響を与えることがある。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
大量の牛乳、カルシウム製剤	milk-alkali syndrome(高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等)があらわれるおそれがあるので、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。	機序：代謝性アルカローシスが持続することにより、尿細管でのカルシウム再吸収が増加する。 危険因子：高カルシウム血症、代謝性アルカローシス、腎機能障害のある患者

3.副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

	頻度不明
代謝異常[注)]	アルカローシス、ナトリウム蓄積による浮腫等
消化器	胃部膨満、胃酸の二次的分泌(リバウンド現象)

注)観察を十分に行い、異常が認められた場合には、減量又は休薬等の適切な処置を行うこと。

4.高齢者への投与
一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量するなど注意すること。

製造番号

使用期限

紙箱
プラ 袋：PE

GS1 (01)14987211136946

JAN 4987211136949

炭酸水素ナトリウム
「ニッコー」

25kg

プラ
PE

(01) 0 4987211 23694 6

㊞ 丸石製薬株式会社